



①日本語の略語 vs 英語の略語

我々の日常生活において、日本語の略語は頻繁に耳にします。例えば、「シュウカツ」=「就職活動」、「トリセツ」=「取扱説明書」など挙げ始めたらきりがありません。

日本人は長い表記の言葉を略語にするのが好きだとよく言われますが、実は英語にも略語は数多く存在します。しかし、略語の使い方は日本語と英語では大きく異なります。

日本語でのコミュニケーションにおいて、上記の「シュウカツ」、「トリセツ」といった略語は主に、話し言葉として用いられています。ビジネス文章の中では、「就職活動」、「取扱説明書」といった正式な単語を使うのが普通でしょう。

一方、英語の略語は、ビジネスメールにおいてもよく目にしますが、話し言葉ではあまり使われません。略語の使い方は日本語と英語では、片や話し言葉、片や書き言葉と異なった使われ方をしているように思えます。

②なぜ、そうなった？

第2次大戦後、英語は徐々に国際共通語の地位を確かなものとし、特にビジネスの世界では、英語が世界共通語となりました。

経済のグローバル化は20世紀後半に加速化しますが、当時はE-Mailはなく、テレックスで国際間の文章のやりとりをするのが一般的でした。



テレックス（左側にさん孔テープを通す）



さん孔テープ（5孔タイプと8孔タイプ）

りとりをすることが一般的でした。

テレックスは今のE-Mailと違って、海外との通信コストは極めて高かったのも、海外の相手とテレックスで繋がる時間をできるだけ短くするために、さん孔テープという紙のテープにパンチで穴を開け、穴の有無で数字とアルファベットを記憶させ、相手とテレックスが繋が

ると、それを一気に流すといった形でテレックスでのコミュニケーションを取っていました。

英語は表音文字で、アルファベットを用いて単語を表します。従って、発音がよく似た文字で文字数を短縮したりします。具体的には、FORを4、I seeをICなどです。

これらを用いて、具体的な電文ではこういった形で表現されていました。

【例1】IC THKS 4 UR INF

(I see Thanks for your information)

分かりました。情報をありがとうございます。

一方、熟語や固有名詞の頭のアルファベットを取って短縮したものも数多くあります。

【例2】PLS REVERT TO ME ASAP

(Please revert to me as soon as possible)

すぐに私宛に折り返してください。

そうして、テレックスでのやりとりでお互いが理解できる略語が、書き言葉としては自然に浸透していったのではないかと思います。

当時も今も、通信料のかさまない英語の紙の手紙（特に公式な文章）においては、略語を目にすることはあまりありません。

③略語は使うべきなのか？

結論から言うと、ビジネスE-Mailのやりとりにおいて、こちらからはできるだけ略語を使わない方が良いでしょう。しかし、略語の入ったE-Mailを受け取ることも少なくないので、今回、テーマとした次第です。

会話にしろ、文章にしろ、相手とのコミュニケーションを着実にするためには、誤解の入り込む余地をできるだけ少なくすることが重要です。

また、受け取る立場であれば、略語を多用しているE-Mailに好感を持てるでしょうか。

よほど気心が知れた相手で、常日頃、略語満載のE-Mailを積極的に送ってくる方であれば、良いかもしれません。

しかし、テレックス時代の通信費がとても高かった時代と現代では状況が違います。

よほど一般化している略語を除いては、可能な限り正式なスペリングで文章を書くことをお勧めします。

よく使われる英語の略語

略語	原型	和訳・解説
ASAP	As Soon As Possible	できるだけ早く
ATM	At The Moment	現時点では
ATTN	attention	～宛
DIY	Do It Yourself	自分で行う (日曜大工)
ETA	Estimated Time of Arrival	到着予定日 (時刻)
EOM	End Of Message	メッセージ終了
EX	example	例
FAQ	Frequently Asked Questions	よくある質問
FYI	For Your Information	ご参考までに
IC	I see	分かりました
JST	Japan Standard Time	日本標準時
N/A	Not Available Not Applicable	該当なし
PIN	Personal Identification Number	暗証番号
PLS	please	どうか
RE	regarding	～の件
SRY	sorry	ごめんなさい
THX	thanks	ありがとう
VIP	Very Important Person	重要人物
YTD	Year-To-Date	当会計年度
Y/N	Yes or No	イエスカノーか
#	number	ナンバー